

2021年度 第1四半期 決算補足資料 [IFRS] (連結)

(注1) 各報告セグメントの正式名称、略称は以下のとおりです。

アプライアンス : AP ライフソリューションズ : LS
コネクティッドソリューションズ : CNS オートモーティブ : AM
インダストリアルソリューションズ : IS

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない事業活動であり、原材料の販売等が含まれております。

(注3) 「消去・調整」には、セグメントに帰属しない収益・費用や、連結会計上の調整およびセグメント間の内部取引消去が含まれております。

(注4) 「AP(製販連結)」は、「消去・調整」に含まれているコンシューマ商品の販売部門の売上高および営業利益を含んでおります。

(注5) 「調整後営業利益」は、売上高から、売上原価と、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(注6) 「その他損益」は、決算短信に記載の「他の損益」に「持分法による投資損益」を加えたものです。

1. 2021年度 第1四半期実績 (セグメント別・サブセグメント別)

(注1) 2020年度のセグメントおよびサブセグメントの情報については、2021年度の形態に合わせて組み替えて算出しております。

(注2) 2021年度年間見通しの「消去・調整」は、「その他」に含まれております。

(1) セグメント別 業績

(億円)

		2020年度					2021年度				
		Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間見通し
AP	売上高	5,541	6,357	6,994	6,027	24,919	6,743				24,800
	調整後営業利益	158	357	487	114	1,116	421				1,230
	その他損益	-6	1	-6	-62	-73	0				-180
	営業利益	152	358	481	52	1,043	421				1,050
LS	売上高	3,263	3,720	4,057	4,061	15,101	3,552				15,300
	調整後営業利益	73	203	390	178	844	143				900
	その他損益	-17	-45	-11	-79	-152	-17				-150
	営業利益	56	158	379	99	692	126				750
CNS	売上高	1,852	1,911	1,998	2,419	8,180	2,085				8,900
	調整後営業利益	-165	-16	49	169	37	71				300
	その他損益	5	4	-23	-223	-237	-69				-120
	営業利益	-160	-12	26	-54	-200	2				180
AM	売上高	2,108	3,585	3,911	3,790	13,394	3,737				15,600
	調整後営業利益	-295	98	20	199	22	112				500
	その他損益	200	-47	-50	-16	87	-14				-220
	営業利益	-95	51	-30	183	109	98				280
IS	売上高	2,886	3,079	3,340	3,250	12,555	3,576				13,000
	調整後営業利益	107	170	258	206	741	348				900
	その他損益	-15	8	-70	-2	-79	5				-50
	営業利益	92	178	188	204	662	353				850
計	売上高	15,650	18,652	20,300	19,547	74,149	19,693				77,600
	調整後営業利益	-122	812	1,204	866	2,760	1,095				3,830
	その他損益	167	-79	-160	-382	-454	-95				-720
	営業利益	45	733	1,044	484	2,306	1,000				3,110
その他	売上高	523	535	476	1,345	2,879	613				-7,600
	調整後営業利益	8	11	11	48	78	14				70
	その他損益	-5	-6	-6	-46	-63	-2				120
	営業利益	3	5	5	2	15	12				190
消去・調整	売上高	-2,254	-2,514	-2,635	-2,637	-10,040	-2,382				
	調整後営業利益	55	127	213	-161	234	86				
	その他損益	-65	63	40	-7	31	-54				
	営業利益	-10	190	253	-168	265	32				
合計	売上高	13,919	16,673	18,141	18,255	66,988	17,924				70,000
	調整後営業利益	-59	950	1,428	753	3,072	1,195				3,900
	その他損益	97	-22	-126	-435	-486	-151				-600
	営業利益	38	928	1,302	318	2,586	1,044				3,300
AP (製販連結)	売上高	5,625	6,457	7,141	6,147	25,370	6,853				25,200
	調整後営業利益	143	351	485	129	1,108	394				1,250
	その他損益	-6	0	-4	-63	-73	0				-180
	営業利益	137	351	481	66	1,035	394				1,070

(2) サブセグメント別[※] 売上高

(億円)

		2020年度					2021年度				
		Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
AP (製版連結)	空調冷熱ソリューションズ	1,444	1,191	1,019	1,238	4,892	1,688				
	ホームアプライアンス	1,978	2,381	2,630	2,104	9,093	2,273				
	スマートライフネットワーク	723	1,220	1,590	1,094	4,627	1,107				
	食品流通	551	672	681	651	2,555	727				
LS	ライティング	537	618	731	677	2,563	555				
	エナジーシステム	662	785	860	804	3,111	722				
	パナソニック エコシステムズ	382	452	538	469	1,841	454				
	ハウジングシステム	993	1,067	1,149	1,109	4,318	1,046				
CNS	アビオニクス	273	245	252	250	1,020	211				
	プロセスオートメーション	433	464	466	537	1,900	660				
	メディアエンターテインメント	179	213	222	256	870	241				
	モバイルソリューションズ	493	477	475	523	1,968	475				
	PSSJ	594	619	646	1,090	2,949	591				
AM	車載機器	1,191	2,151	2,434	2,374	8,150	2,111				
	車載電池	759	1,183	1,165	1,131	4,238	1,342				
IS	システム	1,137	1,309	1,389	1,407	5,242	1,620				
	デバイス	1,054	1,081	1,216	1,170	4,521	1,248				

※各サブセグメントを構成する主な事業部は以下のとおりです。

サブセグメント

主な事業部

AP	・空調冷熱ソリューションズ	：空調冷熱ソリューションズ事業部
	・ホームアプライアンス	：キッチン空間事業部、ランドリー・クリーナー事業部、ビューティ・パーソナルケア事業部
	・スマートライフネットワーク	：スマートライフネットワーク事業部
	・食品流通	：コールドチェーン事業部、Hussmann Corporation
LS	・ライティング	：ライティング事業部
	・エナジーシステム	：エナジーシステム事業部
	・パナソニック エコシステムズ	：パナソニック エコシステムズ(株)
	・ハウジングシステム	：ハウジングシステム事業部
CNS	・アビオニクス	：Panasonic Avionics Corporation、アビオニクスピジネスユニット
	・プロセスオートメーション	：プロセスオートメーション事業部
	・メディアエンターテインメント	：メディアエンターテインメント事業部
	・モバイルソリューションズ	：モバイルソリューションズ事業部
	・PSSJ	：パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株)
AM	・車載機器	：インフォテインメントシステムズ事業部、HMIシステムズ事業部、車載システムズ事業部、Ficosa International, S.A.
	・車載電池	：テスラエナジー事業部、角形車載電池事業
IS	・システム	：メカトロニクス事業部、産業デバイス事業部、エナジー・ソリューション事業部
	・デバイス	：デバイスソリューション事業部、エナジー・デバイス事業部、電子材料事業部

(注1) 中国・北東アジア社の売上は主にAPセグメントとLSセグメント、US社の売上は主にAPセグメントとAMセグメントに含まれています。

(注2) オートモーティブエナジー事業部は2020年4月より非連結化。

車載電池の角形車載電池事業には、プライム プラネット エナジー & ソリューションズ（株）が生産し、当社が販売する売上が含まれています。

(3) セグメント別 設備投資額

(億円)

		2020年度					2021年度				
		Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間見通し
AP		57	85	95	164	401	62				430
LS		79	74	73	585	811	69				410
CNS		38	31	28	40	137	23				170
AM		49	61	116	127	353	101				620
IS		74	82	123	233	512	135				640
計		297	333	435	1,149	2,214	390				2,270
その他/消去・調整		24	44	7	21	96	29				80
合計		321	377	442	1,170	2,310	419				2,350

(注) 発生ベース

(4) セグメント別 減価償却費（有形固定資産）

(億円)

		2020年度					2021年度				
		Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間見通し
AP		102	101	102	105	410	100				470
LS		77	77	76	81	311	78				350
CNS		42	42	43	44	171	37				170
AM		75	78	76	79	308	72				340
IS		144	142	139	143	568	145				610
計		440	440	436	452	1,768	432				1,940
その他/消去・調整		2	-2	3	23	26	2				10
合計		442	438	439	475	1,794	434				1,950

(5) セグメント別 債却費（無形固定資産）、減価償却費（使用権資産）の合計

(億円)

	2020年度					2021年度				
	Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
AP	43					42				
LS	61					48				
CNS	37					39				
AM	73					68				
IS	21					19				
計	235					216				
その他/消去・調整	107					120				
合計	342					336				

2. その他

(1) 地域別 売上高

(億円)

	2020年度					2021年度				
	Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
日本	6,593	7,528	8,231	8,781	31,133	7,669				
前年比 (現地通貨ベース)	75%	77%	91%	103%	86%	116%				
米州	2,126	3,043	3,120	2,882	11,171	3,204				
前年比 (現地通貨ベース)	61%	86%	89%	85%	80%	147%				
欧州	1,110	1,645	1,952	1,913	6,620	1,776				
前年比 (現地通貨ベース)	64%	92%	98%	106%	90%	145%				
アジア	1,989	2,307	2,520	2,621	9,437	2,704				
前年比 (現地通貨ベース)	78%	100%	105%	116%	99%	129%				
中国	2,101	2,150	2,318	2,058	8,627	2,571				
前年比 (現地通貨ベース)	104%	102%	114%	149%	114%	111%				
合計	13,919	16,673	18,141	18,255	66,988	17,924				
前年比 (現地通貨ベース)	75%	85%	96%	105%	90%	124%				

(2) 研究開発費

(億円)

	2020年度					2021年度				
	Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間見通し
研究開発費	1,039	1,060	975	1,124	4,198	974				4,200

(3) 為替レート

	2020年度					2021年度				
	Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間見通し
米ドル	¥108	¥106	¥105	¥106	¥106	¥109				¥105
ユーロ	¥118	¥124	¥125	¥128	¥124	¥132				¥125
人民元	¥15.2	¥15.4	¥15.8	¥16.4	¥15.7	¥17.0				¥17.0

(注) 期中平均レート

(4) 為替感応度

(億円)

	営業利益への影響額
米ドル	-10
ユーロ	-8
人民元	+21

(注) 1円円高になった場合の2021年度（年間）の営業利益への影響額

当社の任意の手続きによって作成した参考数値（2021年5月10日時点）

(5) キャッシュ・フロー

(億円)

	2020年度					2021年度				
	Q1	Q2	Q3	Q4	年間	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
営業活動によるキャッシュ・フロー	-983	1,743	2,541	1,739	5,040	1,301				
投資活動によるキャッシュ・フロー	441	-162	-461	1,948	1,766	-590				
フリー・キャッシュ・フロー	-542	1,581	2,080	3,687	6,806	711				

(億円)

	2020年				2021年				2022年
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
グロス資金 ^(注1)	10,518	10,974	12,714	14,039	16,419	16,685			
有利子負債	14,713	16,484	16,692	16,261	14,474	14,561			
(うちリース負債) ^(注2)	(2,669)	(2,661)	(2,654)	(2,528)	(2,579)	(2,619)			
ネット資金	-4,195	-5,510	-3,978	-2,222	1,945	2,124			

(注1) グロス資金：「現金及び現金同等物」及び「その他の金融資産」に含まれる定期預金等の合計

(注2) 当社は、2019年4月1日より、IFRS第16号「リース」を適用しております。同基準の適用による累積的影響額を適用開始日において認識する方法を採用しております。

(6) 従業員数

(人)

	2020年				2021年				2022年
	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
国内	98,064	96,875	94,299	93,615	92,733	93,151			
海外	161,321	152,474	152,213	151,931	150,807	147,051			
合計	259,385	249,349	246,512	245,546	243,540	240,202			

将来見通しに関するリスク情報

※業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。

その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照ください。

- ・米州、欧州、日本、中国その他のアジア諸国との経済情勢、特に個人消費および企業による設備投資の動向
- ・多岐にわたる製品・地域市場におけるエレクトロニクス機器および部品に対する産業界や消費者の需要の変動
- ・新型コロナウイルス感染症拡大が、パナソニックグループの事業活動に悪影響を及ぼす可能性
- ・ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の過度な変動により外貨建てで取引される製品・サービスなどのコストおよび価格が影響を受ける可能性
- ・資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- ・急速な技術革新および変わりやすい消費者嗜好に対応し、新製品を価格・技術競争の激しい市場へ遅滞なくかつ低成本で投入することができない可能性
- ・他企業との提携または企業買収等で期待どおりの成果を上げられない、または予期しない損失を被る可能性
- ・パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向（BtoB（企業向け）分野における、依存度の高い特定の取引先からの企業努力を上回る価格下落圧力や製品需要の減少等の可能性を含む）
- ・当社を持株会社とする新体制への移行により期待どおりの成果を上げられない可能性
- ・多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持することができなくなる可能性
- ・製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・第三者の特許その他の知的財産権を使用する上の制約
- ・諸外国による現在および将来の貿易・通商規制、労働・生産体制への何らかの規制等（直接・間接を問わない）
- ・法規制に起因した制約・費用・法的責任の発生または法令遵守のための内部統制が不十分である可能性
- ・パナソニックグループが保有する有価証券およびその他の金融資産の時価や有形固定資産、のれん、繰延税金資産などの非金融資産の評価の変動、その他会計上の方針や規制の変更・強化
- ・ネットワークを介した不正アクセス等により、パナソニックグループシステムから顧客情報・機密情報が外部流出する、あるいはネットワーク接続製品に脆弱性が発見され、多大な対策費用負担が生じる可能性
- ・地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他パナソニックグループの事業活動に混乱を与える可能性のある要素